

2025年4月13日

ロータリー 「公共イメージ」の向上

クラブ奉仕委員会
公共イメージ・ICT推進委員長
林正太郎(水戸RC)

「広報」VS「公共イメージ」

「広報」(内側からの発信)

利点

- ・ベネフィットを直接的に訴求する
- ・目的が明確で分かりやすい
- ・目的とする成果に繋がりやすい
- ・相手のレスポンスが早い

短点

- ・頻発すると相手の信頼を損ないやすい
- ・飽きられやすい

「公共イメージ」(外側からの見立て)

利点

- ・ベネフィットを間接的、イメージ的に訴求する
- ・取り込まれているという印象が薄い、自然浸透
- ・ロゴ、デザインなどが重視されやすい
- ・一度得た効果には持続性・発展性がある

短点

- ・広めるまでに時間がかかる
- ・直接的でないため、莫大な費用がかかる

「公共イメージ」向上の基本

整理しておくこと(STEP)

- 1.対象(誰に:WHO)
- 2.内容(何を:WHAT/VALUE)
- 3.手段(どうやって:HOW)
- 4.目的(何のために:WHY/PURPOSE)

ロータリーの答え(ANSWER)

- 1.ロータリーの外部者へ(アウターOUTER)
- 2.ロータリーの使命を(世界理解・平和推進)
- 3.RI行動計画(4つの優先事項)を実践して
- 4.ロータリー活動が広く正しく社会に認知
されること(=公共イメージ)
そのために・・・

1 誰に(WHO):外部者(アウター)

⇒公共イメージとは、「見聞きした瞬間、頭に浮かぶ独自(特別)の存在感」

1それは、外部者(アウター)の頭の中にあること

2その存在感(価値)は、自分たちではなく、アウターが決めること

3それは、アウターに対する未来への約束(期待)であること

4それは、アウターにとって高品質、高価値、高憧憬であること

2 何を(WHAT):内容

⇒アウターに伝えたいことの**特徴**

- 1伝えたいことは、「シンプル」で「わかりやすいこと」であること
- 2伝えたいことは、「感動的」で「期待感あふれること」であること
- 3伝えたいことの「思想」、「ゴール」を決めること:それはロータリーらしいか
- 4伝えたいことの「価値」を決めること:それにはワクワク感(感動期待)があるか

2 何を(WHAT):内容

- ★災害支援
- ★募金活動
- ★寄付活動
- ★地域での奉仕活動
- ★海外での奉仕活動



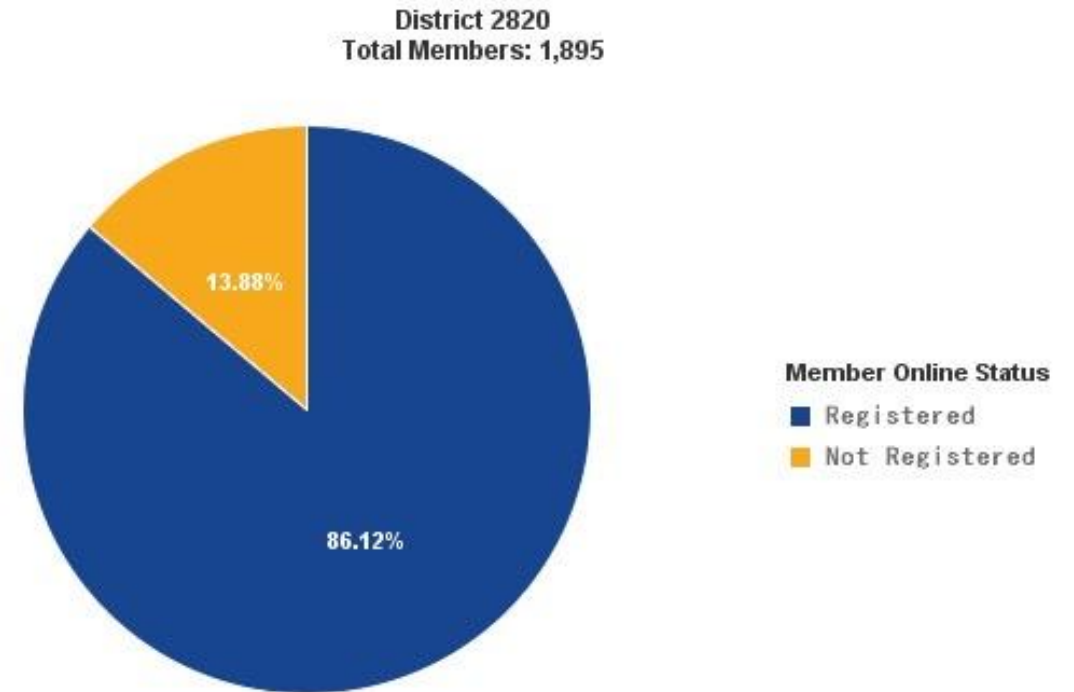
2 何を(WHAT):内容

- ・My ROTARY
- ・自クラブのHP
- ・2820地区のHP
- ・ロータリー
JAPAN Portal Site
など



ちなみに・・・

My ROTARYの
地区全体の登録率は
86.12%で全国トップ！
今後も新入会員の確実な
登録をお願いいたします。



3 どうやって(HOW):手段

⇒「公共イメージ向上」とは、

「それを確立していくための不断の(地道な)努力」(継続力)

「自分から言うのではなく、相手が言ってくれるようになるために、
行動で示し続けること」

私たちは〇〇です

⇒君たちは〇〇ですね(期待通りの〇〇であるように…)

3 どうやって(HOW):手段

⇒「自分目線」を「アウター目線」に切り替える

「視点」を変える(自分本位から相手の立場へ)

- 1 知ってもらう(認知してもらう)
- 2 興味を持ってもらう(もっと知りたいと思ってもらう、間接的なアプローチ)
- 3 好きになってもらう(モノ重視からコト重視へ例:クルマの販売手法))
- 4 価値を高める(例:3Kゼネコン→CC「地図に残る仕事」:好感度アップ)
- 5 参加してもらう(入会、一緒に行動してもらう)
- 6 他者に呼び掛けてもらう(友人を誘ってもらう)

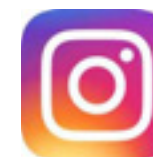
3 どうやって(HOW):手段

★広告

★SNS(HP、Facebook、Instagram・・・)

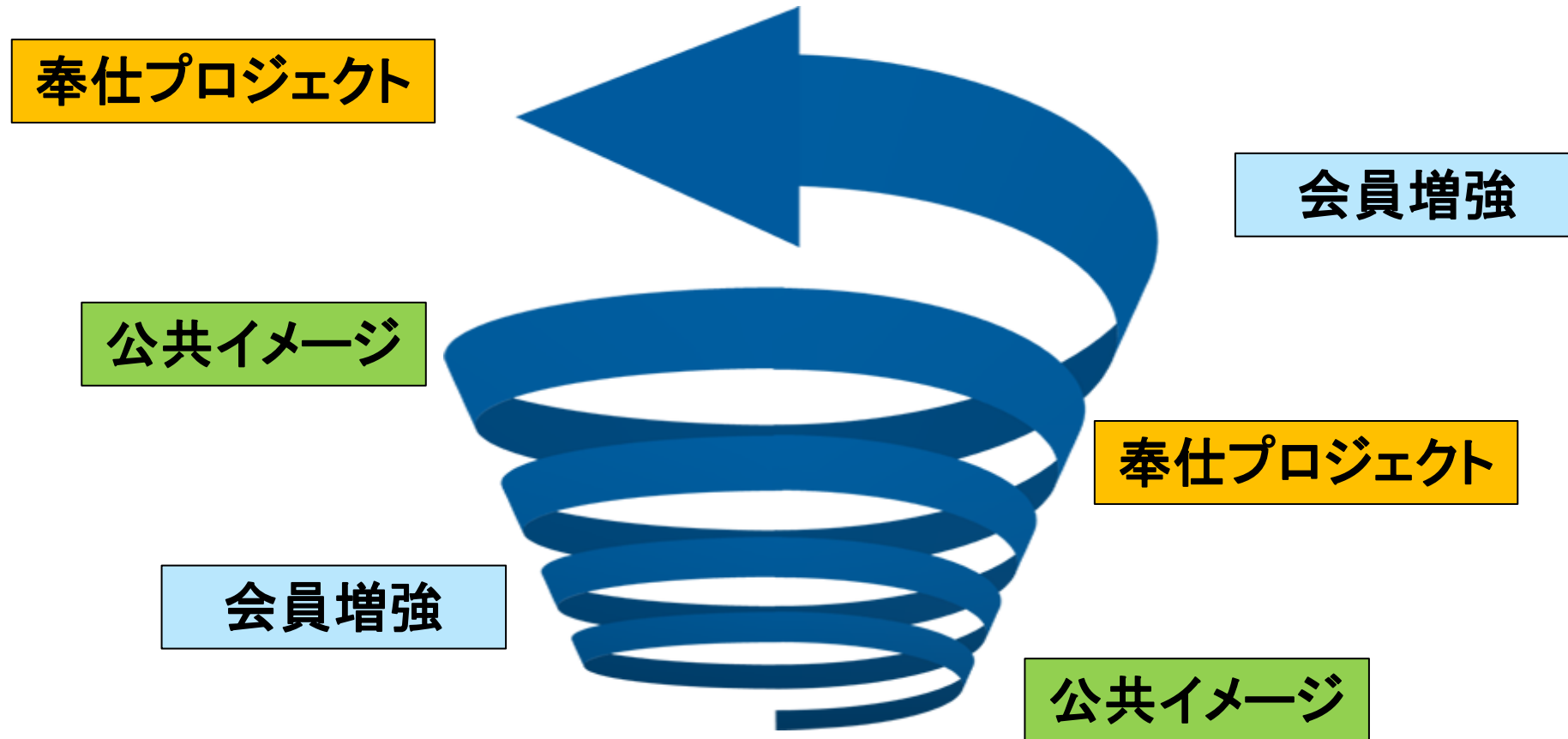
★CM

★チラシ、DM など



SNSでの発信、地区で立ち上げのお手伝いを致します！

4 何のために(WHY):何を実現したいのか



2つの方法で公共イメージ UP

 紙アナログ

 WEB & SNS

クラブ支援

世界ポリオデー Rotary

END POLIO NOW

ポリオをなくそう

2024年10月24日 高松臨海神社にて

世界がひとつに Rotary

ロータリークラブは1979年からパートナーとともに、122カ国、30億人近い子どもを身体まひを予防し、ポリオから守ってきました。活動開始以来、世界の発症数は99.9%減っていますが、ポリオはまだ根絶されていません。地球上からポリオ根絶の活動を世界がひとつになって目標達成のためにロータリークラブは行動しています。

ロータリーは、職業倫理を重んじる実業家、専門職、政治家や地域社会のリーダー約120万人が属する国際的組織です。人道事業は行っているが、すべての組織に役立っているという使命を掲げ、世界の発展と平和の確立に努めています。現在、多岐にわたる事業を推進し、【新しい経済を地域に創出】していくロータリーサテライトクラブが世界に広がりをみせ、地域内でも新しいつながりが生まれ、地域社会へ、世界へ【新しい価値】で貢献する新しいメンバーが誕生しています。

2025年！日立に、新しいクラブが誕生！

History

ロータリーは、一人のアメリカ人のビジョンによって始まりました。その人の名は、ポール・ハリス。創設の経緯

わが国最初のロータリーは、二人の日本人、岸山隆吉と島崎三三のアメリカで出会った。日本に帰国したあか、島崎は、他22名の新設立委員とともに、1920年に日本初のロータリークラブである東京ロータリークラブが設立されました。

日立北さくらロータリーサテライトクラブ (仮称)

創メンバー募集！

2025年3月5日に設立すべき新クラブの選定が決定しました！これから、日立の新たな社会活動や貢献活動を通じて、より多くのメンバーが活躍の場をもち、世界をよりよくしていくための活動メンバー募集です。

世界で新しい広がりをもてる新しい事業のカギ

日立北ロータリークラブ、日立北・ロータリーサテライトクラブは、国連サミットで採択されたSDGs「持続可能な開発目標」に積極的に取り組み、その光りあふれる活動が社会の発展に向けて、活動を通じてまいります。

クラブ支援

RC に惹きつける魅力

魅力ある HP 支援





魅力ある SNS 支援

 Facebook

 Instagram

地区にて

 YouTube

 Facebook

 Instagram

挑戦

 TikTok

若者へも訴求



5 最後に

 魅力あふれるクラブのイメージづくり  

ご清聴ありがとうございました